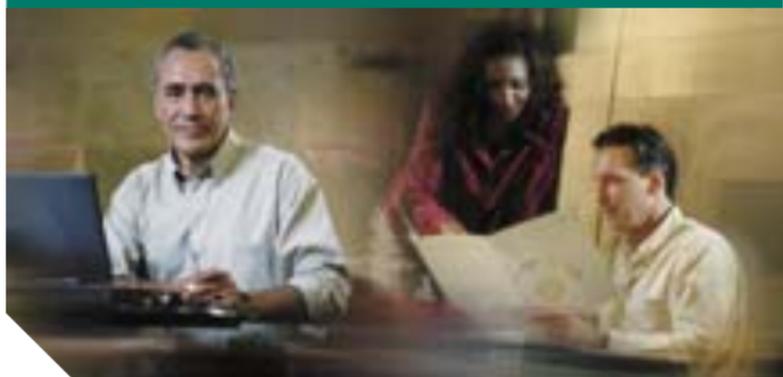


CISCO SYSTEMS



電話ガイド



Cisco 無線 IP 電話 7920 電話ガイド Cisco CallManager 4.0 and Later

(ライセンス契約書および保証書を含む)



Customer Order Number: DOC-J-7816888=
Text Part Number: 78-16888-01-J

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、*Packet*、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルおよび Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Cisco 無線 IP 電話 7920 電話ガイド Cisco CallManager 4.0 and Later

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

電話会議の使用

通話中に **Confrn** を押して、最初の相手を保留にします (Confrn が表示されていない場合は、◀ または ▶ を押して検索します)。2 人目の番号をダイヤルします。2 人目が応答すると、再度 **Confrn** を押して、アクションを完了します。

別の相手を追加するには、**Confrn** を押して、上記の手順を繰り返します。

別の番号へのコールの転送

CFwdAll を検索して、これを押します。すべてのコールを転送する相手の番号をダイヤルします。「Forwarded to <番号>」と表示されます。転送をキャンセルするには、**CFwdAll** を押しします。

CISCO SYSTEMS



Cisco、Cisco IOS、Cisco Systems、および Cisco Systems のロゴは、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

78-16888-01-J
DOC-J-7816888=

クイック リファレンス



Cisco 無線 IP 電話 7920

Cisco CallManager Release 4.0 and Later

電話機の使用法

電話機の電源オン： (赤色のキー) を電話機の電源がオンになるまで押し続けます。

番号のダイヤル：キーパッドの番号を押し、

 を押しします (ダイヤル トーンはありません)。

コールへの応答： (緑色のキー) を押しします。

コールの終了： (赤色のキー) を押しします。

電話機の電源オフ： を電話機の電源がオフになるまで押し続けます。

基本的な電話機能

電話機能へのアクセス： または機能に対応する  (ソフトキー) を押しします。◀ または ▶ を使用すると、通話中に他の機能が表示されます。

アクセスメニューオプション： (メニュー) を押し、◀ または ▶ を使用して、目的のメニューオプションに切り替えます。

コールの保留：**Hold** を押しします。**Resume** を押して、コールに再接続します。

他の着信コールへの応答：現在通話中のコールに対して **Hold** を押しします。▼ を押して 2 番目のコールを選択し、 を押してコールに応答します。

コールの転送：**Trnsfer** を押しします。コールを転送する相手の番号をダイヤルします。相手が応答した後または電話が鳴った後に、**Trnsfer** を押して電話を切りします。

コールの再接続：転送に失敗したか、または保留中のコールに再接続する場合、**Resume** を押しします。

卓上の電話機と無線電話間での共有回線のコールの切り替え：アクティブなコールに接続している電話機から、**Hold** を押しします。もう一方の電話機から、**Resume** を押してコールに接続します。**マイクの消音**：**MuteOn** を押しします。マイクをオンにする場合は、**MuteOff** を押しします。

ショートカットキー

キーボードのロック： (#キー) を押し続けます。 は、キーボードがロックされていることを示します。

キーボードのロック解除： を押し続けてから、OK を押し、キーロックをオフに切り替えます。

呼び出し音からバイブレーションへの切り替え：

 (*キー) を押し続けます。「Vibration On」が表示され、その後  が画面に表示されます (呼び出し音が無音になります)。

バイブレーションから呼び出し音への切り替え：

 を押します。「Vibration Off」と表示され、 が消えます。

スピーカ音量の調節：▲ を押して、音量の画面にアクセスします。▶ を押して音量を上げるか、◀ を押してボリュームを下げます。

ボイスメッセージへのアクセス： をしばらくの間押し続けます。電話がボイスメッセージシステムに接続されます。

番号のリダイヤル： を押してダイヤルしたコールのリストを表示します。▼ を押して番号を検索し、 を押して番号をリダイヤルします。

短縮ダイヤル番号へのアクセス：使用する短縮ダイヤル番号の  (2~9) を押し続けます。該当のホットキーに保存されている番号が表示され、ダイヤルされます。

ソフトキーの定義

CallBack：通話中の内線番号が使用可能になると、通知を受け取ります。

Barge と **cBarge**：共有回線のコールに参加します。

Conflist：会議の参加者のリストを表示します。

DirTrfr：2つのコールを相互に転送します。

iDiver：コールをボイスメッセージシステムに送信します。

GPickUp：別のピックアップグループの別の内線番号へのコールに応答します。

Join：1つの回線に2つのコールに参加させます。

MeetMe：ダイヤルイン番号のある電話会議を主催します。

Park：特定の番号にアクティブなコールを保存します。任意の電話機からパーク番号をダイヤルして、コールを受信します。

PickUp：同じコールピックアップグループ内の別の内線番号へのコールに応答します。

RmLstC：電話会議に追加した最後の参加者を削除します。

短縮ダイヤル番号の設定

短縮ダイヤル設定へのアクセス：

Menu > Directory > Phone Book を選択します。Speed Dial にスクロールして選択します。短縮ダ

イヤルのホットキーが表示されます。チェックマークが電話番号に割り当てられたホットキーを示します。

短縮ダイヤル番号の追加または変更：短縮ダイヤルのホットキーにスクロールして、Detail を押しします。Edit を押し、キーボードを使用して番号を入力または変更します。OK を押して、短縮ダイヤルを保存します。

電話帳エントリの作成

電話帳エントリの追加または変更：

Menu > Directory > Phone Book > Add を選択します。エントリ項目にスクロールして、Select を押しします。キーボードを使用して名前または電話番号を入力します。

テキストの入力：数字キーを1回、2回または3回押して、適切な文字を入力します。番号を入力するには、キーを4回押します。スペースを入力するには、▶ または ▼ を押しします。

大文字の入力： を押して、大文字と小文字を切り替えます。ABC または abc が画面の右に表示されます。

記号の入力： を押して、記号表を表示します。矢印を使用して目的の記号を選択し、Use を押して挿入します。



Contents

クイック リファレンス Cisco 無線 IP 電話 7920

CHAPTER 1

使用する前に	1
このマニュアルの使用方法	2
表記法	5
安全と性能に関する情報	7
無線 LAN 製品の使用に関する警告	9
無線 LAN 製品の使用に関する注意事項	10
無線 LAN 製品の使用に関するガイドライン	11
バッテリーの安全上の注意事項	13
Cisco 無線 IP 電話 7920 のアクセサリ	17
電話機のバッテリーの取り付けと取りはずし	18
電話機のバッテリーの充電	20

**Cisco 無線 IP 電話 7920 の概要
23**

- 電話機の電源オン 27
- メイン画面と表示インジケータ
28
- 電話機能のショートカット キー
30
- 電話メニューの使用 33
- パスワードの設定 35
- テキストの入力と編集 37

基本的なコール処理 39

- 発信 40
- コールへの応答とコールの終了
47
- コールの消音 49
- スピーカ音量の調節 50
- コールの保留 52
- コールの転送 54
- 電話会議の使用 56
 - 標準電話会議の開始方法 57
 - Meet-Me 電話会議の開始方法お
よび参加方法 59
- 別の番号へのコールの転送 61

CHAPTER 4

高度なコール処理 63

コールパークとパーク中のコールの取得 64

電話機でのリダイレクトされたコールのピックアップ 66

共有回線の使用方法 68

共有回線でサポートされる最大コール数 69

コール情報の共有と割り込み 69

他人による共有回線のコールの表示または参加の防止 72

不審なコールのトレース 74

重要なコールの優先順位付け 75

CHAPTER 5

**電話帳機能と短縮ダイヤル機能の使用
方法 79**

電話帳の使用法 81

電話帳のエントリの追加または変更 83

短縮ダイヤルホットキーの設定 88

**ボイス メッセージと通話履歴ログの
使用方法 93****ボイス メッセージの再生 94****Call History メニューからの通話の
表示と発信 96****プロフィールの使用法と変更方法
99****ユーザ プロファイル 100****ユーザ プロファイル設定のオプ
ション 101****ユーザ プロファイルの設定
102****ネットワーク プロファイル
107****ネットワーク プロファイルの変
更 107****Cisco IP Phone サービスの使用法
111****ユーザ オプション Web ページへの
ログイン 112****IP Phone サービスへの登録
114****IP Phone サービスへのアクセス
116**

CHAPTER 9

電話設定のカスタマイズと電話ステータスの表示 119**電話設定の変更 120****呼び出しトーンの設定の変更
120****電話機の画面設定の変更 123****電話ロックの設定の変更 125****電話ステータスの表示 127****ネットワーク設定の表示 129****シスコ製品（ハードウェア）に関する
1年間の限定保証規定 131**



Figures

- ☒ 1-1 バッテリーの取り付けと取りはずし **19**
- ☒ 1-2 電話機のバッテリーの充電 **21**
- ☒ 2-1 Cisco 無線 IP 電話 7920 のキーの機能
 24
- ☒ 2-2 スタンバイ モードのメイン画面 **28**
- ☒ 2-3 記号画面 **38**
- ☒ 3-1 スピーカ音量の調節 **50**
- ☒ 3-2 接続された 2 つのコールからの選択
 53
- ☒ 5-1 電話帳エントリ **84**
- ☒ 5-2 Speed Dial メニュー **89**



Tables

表 7-1	プロファイル設定変更のオプション
	102



使用する前に

Cisco 無線 IP 電話 7920 を使用する前に、次の製品が箱に入っていることを確認し、製品が不足している場合はシステム管理者または代理店にご連絡ください。

- Cisco 無線 IP 電話 7920
- 標準バッテリー
- 電源
- *Cisco 無線 IP 電話 7920 電話ガイド*
- *Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Wireless IP Phone 7920*
- *Cisco 無線 IP 電話 7920 アクセサリガイド*



(注)

この電話の無線周波数 (RF) は、国ごとの規制に基づき設定されています。この電話をその規制国外で使用した場合は、電話が正しく機能せず、その国の規制に違反する場合があります。

このマニュアルの使用法

このマニュアルでは、この電話で使用可能な機能の概要を説明します。一般的な作業については、次の表を参照してください。ご使用の電話機に問題があるか、または情報が必要な場合は、システム管理者にお問い合せください。

項目	操作
バッテリーの取り付け	P.18 の「電話機のバッテリーの取り付けと取りはずし」を参照してください。
バッテリーの充電	P.20 の「電話機のバッテリーの充電」を参照してください。
電話機の電源のオンまたはオフ	P.27 の「電話機の電源オン」を参照してください。
電話の使用	最初に、P.23 の「Cisco 無線 IP 電話 7920 の概要」を参照してください。
LEAP パスワードの設定	P.35 の「パスワードの設定」を参照してください。
電話画面について	P.28 の「メイン画面と表示インジケータ」を参照してください。
コールの発信	P.40 の「発信」を参照してください。

項目	操作
スピーカ音量の変更	P.50の「スピーカ音量の調節」を参照してください。
キーパッドのロック	P.30の「電話機能のショートカットキー」を参照してください。
コールの保留	P.52の「コールの保留」を参照してください。
コールの転送	P.54の「コールの転送」を参照してください。
コールの消音	P.49の「コールの消音」を参照してください。
電話会議の実施	P.56の「電話会議の使用」を参照してください。
ボイスメッセージの聞き取り	P.94の「ボイスメッセージの再生」を参照してください。
短縮ダイヤルの設定	P.88の「短縮ダイヤル ホットキーの設定」を参照してください。
状況に応じた呼び出し音の選択	P.102の「ユーザプロファイルの設定」を参照してください。
個人電話帳の設定	P.81の「電話帳の使用方法」を参照してください。

項目	操作
呼び出しトーンの変更	P.120 の「呼び出しトーンの設定の変更」を参照してください。
電話アプリケーションと電話サービスへの登録	P.114 の「IP Phone サービスへの登録」を参照してください。
電話アクセサリの情報の取得	P.17 の「Cisco 無線 IP 電話 7920 のアクセサリ」を参照してください。

表記法

電話機能の使用法および電話設定の変更手順の説明を簡単にするために、このマニュアルでは次のナビゲーションのための表記法と用語を使用します。

アクション キー	このマニュアルでの ナビゲーション手順
ラベルに対する  または  ソフト キーの使用	メニュー、機能、またはアクションのラベルに対してソフトキーを押す必要がある場合、このマニュアルでは、(ソフトキー ラベル) を押す、と表記します。 例： PhBook を押します。
◀または▶ 矢印 の使用	メニューのタブやソフトキー ラベルを左右に移動する場合、このマニュアルでは、◀または▶ を使用して (項目名) に切り替える、と表記します。 例：◀または▶ を使用して Directory に切り替えます。

アクション キー	このマニュアルでの ナビゲーション手順
▲または▼ 矢 印の使用	メニュー オプションやリスト項目を上下に移動する場合、このマニュアルでは、(項目名)にスクロールする、と表記します。 例: Speed Dial にスクロールします。
「Select」ソフト キーの使用	「Select」ソフトキーを押して強調表示されているメニューのオプションや項目を使用する必要がある場合、このマニュアルでは、(項目名)を選択する、と表記します。 例: Speed Dial を選択します。
メニューとオ プションの使 用	複数のメニュー オプションを選択しながら進む場合、このマニュアルでは、Menu > (メニュー オプション) > (メニュー オプション) を選択する、と表記します。 例: Menu > Directory > Phone Book > Speed Dial を選択します。

安全と性能に関する情報

Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置と使用の前に、次の安全上の注意をお読みください。



警告

「危険」の意味です。人身事故または火災を予防するための注意事項を記述しています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。



警告

システムを電源に接続する前に、取り付け手順をお読みください。



警告

バッテリー チャージャーのプラグとソケットは重要な切断手段となるため、常に手の届く場所に配置してください。



警告

この装置は、通常の操作では商用電源に依存しているため、電源異常時には緊急サービスを利用できません。緊急サービスを利用する場合は、別の手段が必要です。緊急サービスへアクセスする場合、この装置の通話制限機能の影響を受けることがあります。



警告

高濃度の引火性ガスが発生する場所など、危険な環境で Cisco 無線 IP 電話 7920 を使用しないでください。このような環境で無線デバイスを使用する前に、設置場所の安全管理責任者に確認してください。バッテリーチャージャーでは、屋内取り付けの一環として短絡（過電流）保護を行う必要があります。国および各地域の配線規制に準拠して取り付けを行ってください。

無線 LAN 製品の使用に関する警告



警告

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止、制限された区域では、その区域における規則および現場の責任者の指示に従ってください。電波が電子機器や医療機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になります。



警告

心臓ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本製品を装着部から十分離して使用してください。電波によりペースメーカー等が誤作動するなど影響を受けるおそれがあります。

無線 LAN 製品の使用に関する 注意事項

Cisco 無線 IP 電話 7920 には、次に示す使用上の注意事項が適用されます。Cisco 無線 IP 電話 7920 の使用を開始する前に、次の各項をお読みください。



注意

「要注意」の意味です。この状況では、機器が損傷する可能性がありますので、注意が必要です。製品のマニュアルの説明を参照してください。



注意

本製品をコードレス電話機やテレビ、ラジオ、無線機などの近くでご使用になると電波の干渉により互いに影響を与える場合があります。



注意

本製品は日本国外で使用できません。また、分解や改造すると使用できなくなります。

無線 LAN 製品の使用に関する ガイドライン

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局並びにアマチュア無線局が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、混信回避の処置等をご検討してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、お困りのことが起きた場合は、弊社（TEL:03-5549-6500）またはご購入の代理店までお問い合わせください。

本製品は 2.4GHz 帯小電力通信システムの無線設備であり、製品に次の記号が表示されています。

2.4 DS 4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示します。

DS : DSSS 方式の変調方式を示します。

4 : 想定される干渉距離が40 m以下です。

--- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

バッテリーの安全上の注意事項

次に示すバッテリーの安全上の注意事項は、Cisco 無線 IP 電話 7920 の専用バッテリーに適用されます。



警告

バッテリーの取り扱い方を間違えると破裂、発火の危険があります。バッテリーは、必ずシスコが指定する型番のバッテリーに交換してください。使用済みのバッテリーは、各自治体の条例などに従って廃棄してください。



警告

バッテリー パックを火または水の中に廃棄しないでください。火の中に捨てると、バッテリーが爆発する可能性があります。



注意

バッテリー パックは、この装置だけで使用することを目的としています。



注意

バッテリー パックを分解、粉碎、破壊、または焼却しないでください。



注意

バッテリーパックの発火、消耗、または損傷の危険を防ぐために、バッテリー端子に金属を触れさせないようにしてください。



注意

損傷または漏電したバッテリーの取り扱いには、十分注意してください。電解液に触れた場合は、触れた部分を石鹼と水で洗ってください。電解液が目に入った場合は、水で15分間目を洗い流し、医師の診察を受けてください。



注意

気温が 104 ℱ(40)を超える場合は、バッテリーパックを充電しないでください。



注意

バッテリーパックを保管するときは、高温(140 ℱ、60 超)にさらさないでください。



注意

バッテリーパックを廃棄するときは、バッテリーの廃棄またはリサイクルに関する地域の制限について、お住まいの地域の条例などの規則をご確認ください。



注意

交換用バッテリーを入手するには、お近くの販売店にお問い合わせください。シスコの部品番号の付いたバッテリーだけを使用してください。

標準バッテリー : CP-BATT-7920-STD

拡張使用バッテリー : CP-BATT-7920-EXT



注意

ご使用の電話機に付属しているシスコの電源だけを使用してください。電源を交換する必要がある場合は、シスコの部品番号のリストを参照してください。

北米 : CP-PWR-7920-NA

中央ヨーロッパ : CP-PWR-7920-CE

英国 : CP-PWR-7920-UK

中国 : CP-PWR-7920-CN

日本 : CP-PWR-7920-JP

警告の各国語表記については、この製品に付属している『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Wireless IP Phone 7920*』を参照してください。

Cisco 無線 IP 電話 7920 の アクセサリ

ご使用の電話機では、次の電話アクセサリを使用できません。

- 標準および拡張バッテリー
- 各地域用の電源
- デスクトップチャージャー
- 標準コード式イヤホン
- キャリングケース

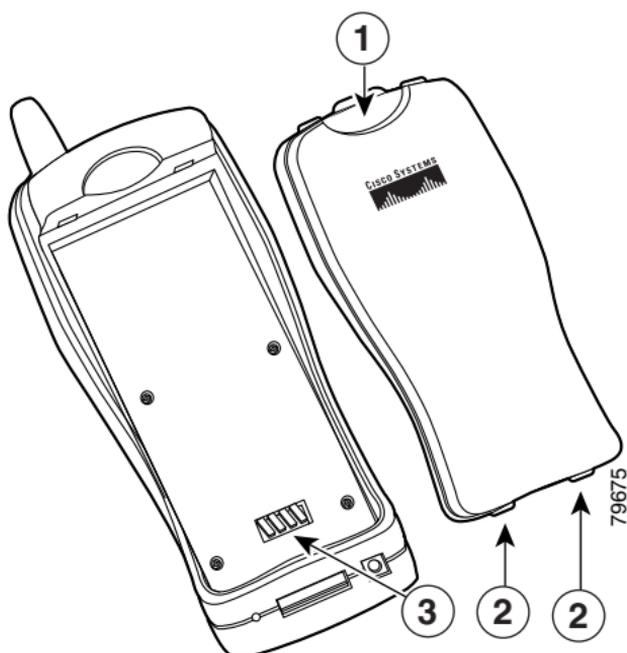
アクセサリの詳細なリストについては、電話機の箱に入っている『Cisco 無線 IP 電話 7920 アクセサリガイド』を参照してください。

電話機のバッテリーの取り付けと取りはずし

Cisco 無線 IP 電話 7920 を使用する前に、バッテリーを取り付けて充電する必要があります。バッテリーを取り付ける、または取りはずすには、次の手順に従います。

1. バッテリーを取り付けるには、バッテリーの爪 (図 1-1 に示す) を、Cisco 無線 IP 電話 7920 の下側にある、対応するスロットにはめ込みます。バッテリーと電話機の電源端子がそれぞれ向かい合っていることを確認してください。
 2. バッテリーが固定されるまで、バッテリーを電話機の本体に押し込みます。
 3. バッテリーを取りはずすには、バッテリーを固定している爪を下に押し、バッテリーを持ち上げてはずします。
-

図 1-1 バッテリーの取り付けと取りはずし



1	固定用の爪：これを押してバッテリーを取りはずします。
2	バッテリーの爪：バッテリーを取り付けるときには、電話機の下側近くにあるスロットにこれらをはめ込みます。
3	電源端子：バッテリーの端子と電話機の端子が向かい合うようにします。

電話機のバッテリーの充電

充電式のバッテリーが Cisco 無線 IP 電話 7920 に電力を供給します。バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

手順

1. 電源のケーブルを、電話機のコネクタに接続します。
2. 図 1-2 に示すように、電源を AC 壁コンセントに差し込みます。

電話機の電源がオフになっている場合は、画面に「Battery Charging」というメッセージが表示されます。バッテリーの充電が完了すると、「Battery Full」と表示されます。

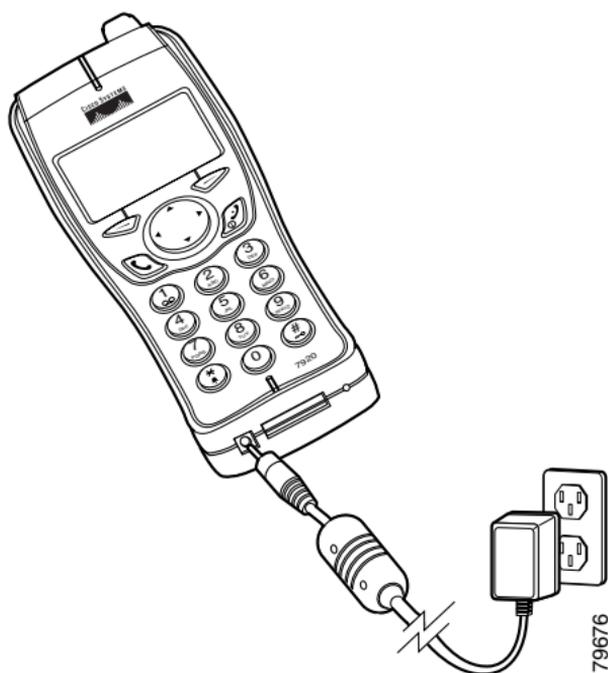
電話機の電源がオンになっている場合は、バッテリー インジケータ バーが点滅して、現在の電力レベルが表示されます。バッテリーの充電が完了すると、インジケータ バーは点滅しなくなり、「Charging Complete」と表示されます。

フル充電すると、標準バッテリーでは充電の完了に約 3 時間 30 分かかります。拡張バッテリーでは約 4 時間 30 分かかります。

3. バッテリーの充電が完了したら、電話機からチャージャーを取りはずして、AC 壁コンセントから電源をはずしてください。

バッテリーの充電の詳細については、『Cisco 無線 IP 電話 7920 アクセサリ ガイド』の「デスクトップチャージャー」の項を参照してください。

図 1-2 電話機のバッテリーの充電



ヒント

- 電話機は、バッテリーの電力レベルが低くなるとそれを検出し、アクティブなユーザのプロファイルで指定された警告トーンとともに「Battery Low」という警告メッセージを表示します。
- 標準バッテリーでは、最高 3 時間 30 分の連続通話と 21 時間の連続待ち受けが可能になります。
- 拡張バッテリーでは、最高 4 時間 15 分の連続通話と 30 時間の連続待ち受けが可能になります。



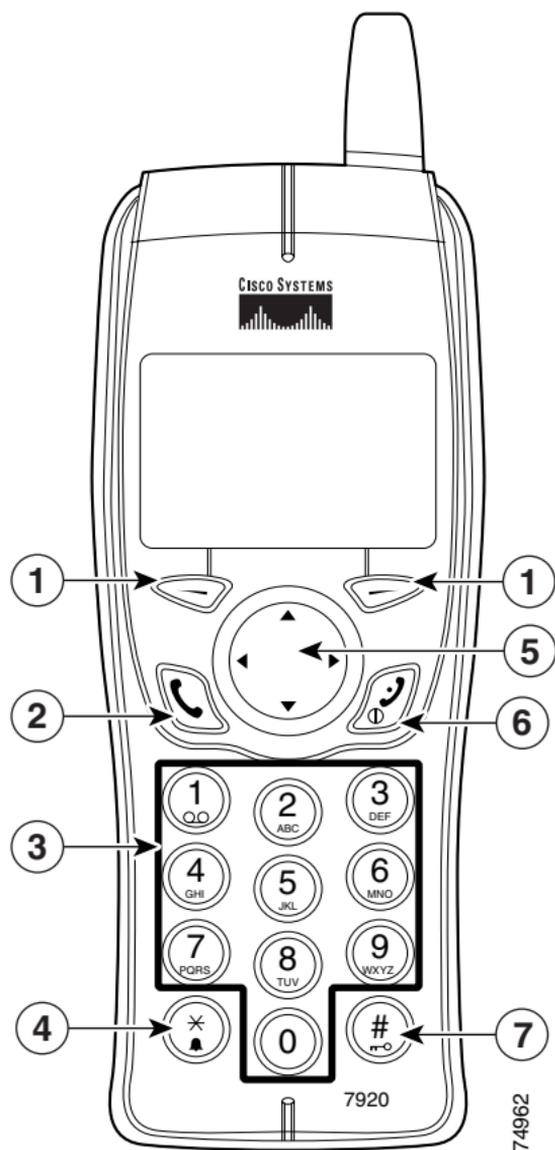
Cisco 無線 IP 電話 7920 の概要

Cisco 無線 IP 電話 7920 には、次の機能があります。

- 企業の内線電話や電話サービスへの無線アクセス
- マルチライン表示
- 最大 8 つのローカルの短縮ダイヤルホットキー
- 着信コールの発信者 ID
- 転送、保留、コールパーク、会議、コールピックアップアップ、グループピックアップアップなどのコール処理機能
- 個人電話帳または IP Phone サービスにアクセスするための設定可能なソフトキー
- 個人用プロフィールとネットワーク用プロフィールの選択
- 天気、株式情報、電話ディレクトリサービスなどの Web ベースのサービスへのアクセス

図 2-1 は、Cisco 無線 IP 電話 7920 を示しています。この表は、電話機のキーの機能を説明したものです。

図 2-1 Cisco 無線 IP 電話 7920 のキーの機能



1		左および右のソフトキー：ソフトキーの上にあるラベルの項目を有効にします。
2		応答 / 発信キー：コールに応答したり、番号をダイヤルします。
3	 	<p>番号キー (0 ~ 9)：番号と文字の入力に使用します。</p> <p>番号キー (2 ~ 9)：短縮ダイヤルホットキーを有効にするために使用します。</p>
4		<p>アスタリスク (*) キー：呼び出し音モードとバイブレーションモードを切り替えます。</p> <p>大文字と小文字を切り替えます。P.37 の「テキストの入力と編集」を参照してください。</p>
5		矢印キー：ある機能から別の機能に移動します。このマニュアルでは、方向を示す矢印として、▲、▼、◀、または▶を使用します。

6		電源 / 終了キー：電話機の電源をオンまたはオフにしたり、呼び出し音を無音にしたり、接続中のコールを終了します。P.47の「コールへの応答とコールの終了」を参照してください。
7		シャープ(#)キー：キーパッドのロックとロック解除を切り替えます。 テキスト入力時は特殊文字にアクセスできます。

電話機の電源オン

電話機の電源をオンにするには、 (緑色) キーを電源がオンになるまで押し続けます。電話機は次の起動プロセスを実行します。

1. 電話機が無線アクセス ポイントに接続し、認証が始まります。

ユーザ名とパスワードを使用して無線ネットワークにアクセスする必要があります。P.35 の「パスワードの設定」を参照してください。

2. 認証が完了すると、電話機に図 2-2 のようなメイン画面が表示されます。電話機はスタンバイモードで、発信と着信の準備ができた状態になっています。

3. 右上隅の信号アイコンは、無線アクセス ポイントと電話機の間信号の強さを示します。発信または着信するには、電話機に十分な強さの信号が届いている必要があります。

強い信号の場合、アイコンには 6 本の縦棒が表示されます。アイコンに表示されている棒が 3 本未満の場合、信号は弱くなっています。

ヒント

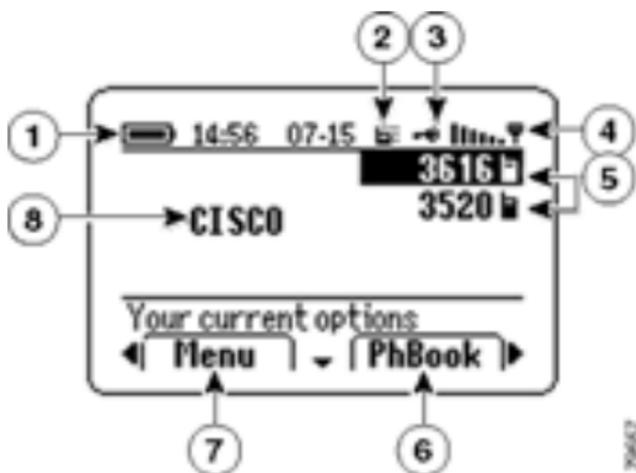
受信する信号が弱いと、電話機には「Weak signal detected」という警告メッセージが表示され、アクティブなプロファイルで指定されているトーンま

たはバイブレーションが送信されます。詳細については、P.102の「ユーザプロフィールの設定」を参照してください。

メイン画面と表示インジケータ

図 2-2 は、スタンバイモードのメイン画面に表示されるインジケータを示しています。

図 2-2 スタンバイモードのメイン画面



1	バッテリーアイコン：バッテリーの充電レベルを示します。
2	バイブレーションアイコン：バイブレーションモードを示します。
3	キーロックアイコン：キーパッドがロックされていることを示します。
4	信号アイコン：信号の強度を示します。
5	内線番号：各電話回線を識別します。
6	右ソフトキーラベル： <i>PhBook</i> または <i>Svcs</i> を表示し、通話中は機能ソフトキーを表示します。
7	左ソフトキーラベル： <i>Menu</i> を表示し、通話中は機能ソフトキーを表示します。
8	ようこそメッセージ：変更可能なメッセージを表示します。

電話機能のショートカット キー

電話機のキーパッドは、頻繁に使用される次の機能へのショートカットになります。

ショート カット キー	機能	このショートカットの 使用方法
	電話機の キーパッド のロックま たはロック 解除	<p>キーを押し続けます。メイン画面の上部にアイコンが表示されます。</p> <p>キーのロック解除に切り替えるには、キーを押し続けます。アイコンが消えます。</p>

ショート カット キー	機能	このショートカットの 使用方法
⊛	呼び出し音 モードとバ イブレー ションモ ードの切り替 え	<p>⊛ キーを押し続けます。画面に「Vibration On」と表示され、上部に  アイコンが表示されます。</p> <p>呼び出し音モードに切り替えるには、⊛ キーを押し続けます。画面に「Vibration Off」と表示され、 アイコンが消えます。</p> <p>デフォルトの設定は「呼び出し音モード」です。</p>
①	ボイスメッ セージへの アクセス	<p>① キーをしばらくの間押してから離します。電話機がボイスメッセージシステムに接続されます。</p>
▲	スピーカ音 量調節への アクセス	<p>通話中に音量調節画面にアクセスするには、ナビゲーションキーの ▲ 矢印を押します。ナビゲーションキーの ▶ を押すと音量が上がり、◀ を押すと音量が下がります。</p>

ショート カット キー	機能	このショートカットの 使用方法
② ASC	短縮ダイヤ ル番号の有 効化	使用する短縮ダイヤル番号 に対応する数字キー(2 ~ 9) のいずれかを押し続けます。

関連項目

- ボイスメッセージの再生 (P.94)
- スピーカ音量の調節 (P.50)
- 短縮ダイヤルホットキーの設定 (P.88)

電話メニューの使用

電話メニューでは、電話機の機能と設定にアクセスできます。Menu を押すと、電話画面に最初のメニューの名前が表示され、その他の電話メニューのタブが重なって表示されます。

特定のメニューにアクセスするには、◀または▶を押して、Directory などの目的のメニュー名を表示します。Select を押します ( を使用)。メニューオプション間をスクロールするには、▲または▼を使用します。

Directory メニューの Speed Dial などのメニューオプションを選択するには、Speed Dial にスクロールして Select を押します。

次の表は、電話メニューの参照情報の一覧です。

メニュー	電話ガイドでの該当項
Directory	電話帳機能と短縮ダイヤル機能の使用法 (P.79)
Messages	ボイスメッセージの再生 (P.94)
Call History	Call History メニューからの通話の表示と発信 (P.96)

メニュー	電話ガイドでの該当項
Profiles	プロファイルの使用方法和変更方法 (P.99)
Services	Cisco IP Phone サービスの使用 方法 (P.111)
Phone Settings	電話設定のカスタマイズと電 話ステータスの表示 (P.119)
Network Config	ネットワーク設定の表示 (P.129)

パスワードの設定

電話機の電源を最初にオンにしたときに、無線ネットワークにアクセスするためのユーザ名とパスワードを設定しなければならない場合があります。システム管理者はこの情報を提供することができます。

ユーザ名とパスワードを設定するには、次の手順に従います。

ユーザ名とパスワードの設定

1. **Menu** を押した後に▶を押して**Profiles**メニューを表示し、**Select** を押します。
2. **Network Profile** にスクロールして、**Select** を押します。
3. 現在のプロファイル名 (が付いている) にスクロールして、**Select** を押します。
4. **802.11b Configuration** にスクロールして、**Select** を押します。
5. **LEAP** にスクロールして、**Select** を押します。
6. **Username** または **Password** にスクロールして、**Select** を押します。



- (注) システムのユーザ名の形式とパスワード情報については、システム管理者にお問い合わせください。
-

7. **Edit** を押して、ユーザ名またはパスワードを入力します。これについては、P.37 の「テキストの入力と編集」を参照してください。



- (注) LEAP パスワードは、英数字を使用して 32 文字以内で入力してください。
-

8. 変更を確認するには、**OK** を押し、**Back** を 3 回押します。Apply Change にスクロールし、**Select** を押して変更内容を有効にします。メイン画面に戻るには、**Back** を押します。
-

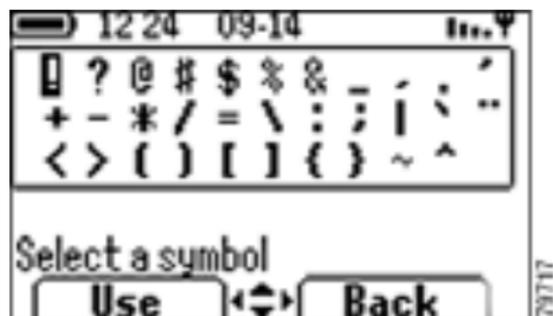
テキストの入力と編集

パスワードと電話帳のエントリには、文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーパッドの数字キーを押すと、そのキーが制御するすべての文字が表示されます。キーを押すたびに、別の文字が表示されます。

項目	操作
文字の入力	数字キーの最初の文字を入力するには、キーを1回押します。2番目の文字を入力するにはキーを2回押し、3番目の文字を入力するには3回押します。
数字の入力	数字を入力するには、該当の数字キーを4回押します。
最後の文字の削除	文字列の最後の文字または数字を削除するには、 Clear を1回押します。
文字列全体の削除	テキストまたは数字の文字列全体を削除するには、 Clear を押し続けます。

項目	操作
大文字の使用	Ⓢを押して大文字と小文字を切り替えます。画面の右上隅に、大文字か小文字かを示すABCまたはabcが表示されます。
スペースの入力	文字間にスペースを入力するには、▶または▼を押します。
特殊文字と記号の入力	Ⓢを押します。この操作により、図 2-3 に示す記号画面が表示されます。目的の記号を選択するには、▲、▼、◀、または▶を使用します。テキストに記号を挿入するには、Useを押します。
編集モードのキャンセル	メニュー オプションやメイン画面に戻るには、必要に応じてBackを押します。

図 2-3 記号画面





基本的なコール処理

ほとんどの電話ユーザは、コールの発信、応答、転送や電話会議などの基本的なコール処理作業を行うことができます。これらの機能を利用できない場合は、システム管理者に確認してください。

発信

項目	操作
電話番号のダイヤル	数字キーを使用して電話番号を入力します。
最後に入力した数字の削除	最後の数字を削除するには、 Clear を押します。 ダイヤルした数字全体を削除するには、 Clear を押し続けます。
発信	ダイヤル後、発信するには  (緑色) を押します。  (注) <u>ダイヤル トーンはありません。</u>
セカンダリ回線での発信	番号をダイヤルする前または後に  を押して別の回線に変更し、  を押して電話をかけます。
別のコールがアクティブな場合の発信	Hold を押してアクティブなコールを保留してから、 ◀ または ▶ を押し、 New Call に切り替えて押します。番号をダイヤル、リダイヤル、または短縮ダイヤルします。

項目	操作
最後にダイヤルした番号のリダイヤル	▶を押して Redial に切り替えてから、 Redial を押して電話をかけます。
発信履歴のリストにある番号のリダイヤル	☎を押してリストを表示します。目的の電話番号にスクロールし、☎を押して電話をかけます。発信履歴のリストには、10レコードが保存されます。
ローカルの電話帳にある電話番号のダイヤル	<p>PhBook または Menu > Directory > Phone Book を押して目的のエントリにスクロールします。☎を押して番号をダイヤルします。</p> <p>詳細については、P.81 の「電話帳の使用方法」を参照してください。</p>

項目	操作
短縮ダイヤル ホットキーによる 電話番号の短縮 ダイヤル	<p>使用する短縮ダイヤル番号に対応する  (2 ~ 9) を押し続けます。該当のホットキーに保存されている番号が表示され、ダイヤルされます。</p> <p>P.88 の「短縮ダイヤル ホットキーの設定」を参照してください。</p>
通話履歴ログからの ダイヤル	<p>Menu > Call History > Missed Calls、または Received Calls、または Placed Calls を選択します。目的のエントリにスクロールして、Dial または  を選択します (コールを発信する前に、番号を編集しなければならないことがあります)。</p>

項目	操作
社内ディレクトリリストからのダイヤル	<p>Menu > Directory > Corporate Directory (正確な名前は変わることがあります)を選択します。リストを検索するには、キーパッドから文字を入力して Search を押します。</p> <p>目的のエントリにスクロールして、Dial または  を選択します。</p>
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) エントリまたはファーストダイヤルコードからのダイヤル	<p>Menu > Services > PAB サービスまたは Fast Dial サービス (正確な名前は変わることがあります)を選択します。リストを検索するには、キーパッドから文字を入力して Submit を押します。リストからダイヤルするには、目的のエントリにスクロールして  を押します。</p> <p>PAB サービスまたはファーストダイヤル サービスへの登録については、P.114 の「IP Phone サービスへの登録」を参照してください。</p>

項目	操作
<p>通話中または呼び出し中の内線番号が使用可能になった場合の通知の受信</p>	<p>ビジー トーンまたは呼び出し音が鳴っているときに、番号を発信して CallBack を押します。次に電話を切ります。内線番号が使用可能になると、電話機にメッセージが表示され、呼び出し音が鳴ります（この番号へのコールバックは自動ではありません。自分でコールを発信する必要があります）。コールバック通知のステータスを表示するには、電話機がアイドルのときに CallBack を押します。コールバック通知をキャンセルするには、Cancel を押します。</p> <p>CallBack は特別な機能なので、システム管理者に設定を依頼します。相手がコール転送を有効にしている場合、CallBack は失敗します。</p>

項目	操作
課金コードまたはトラッキングコードによるコールの発信	特定のトーンが鳴ったら、電話番号をダイヤルして Client Matter Code (CMC) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。CMC または FAC コードの入力の必要の有無および詳細な手順は、システム管理者により指示されます。
プライオリティ (Precedence) コール の発信	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。詳細については、P.75 の「重要なコールの優先順位付け」を参照してください。

項目	操作
Cisco Extension Mobility プロファイルによるコールの発信	<p>Extension Mobility(EM)にログインしていることを確認します。Menu > Services > EM Service を押し、キーパッドを使用してログイン情報を入力します。電話機を共有している場合、特定の機能にアクセスしたりコールを発信する前に、EM にログインする必要があります。</p> <p>EM は特別な機能なので、システム管理者が電話機およびユーザに割り当てます。</p> <p>次の URL から『<i>Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ</i>』を参照してください。</p> <p>http://www.cisco.com/univercd/cc/t/d/doc/product/voice/c_ipphon/english/ipp7960/usopt.pdf</p>

ヒント

- 電話番号の入力に失敗した場合は、**Clear** を押し、1つまたは複数の数字を消します。
- 最後の番号をリダイヤルするには、 を 2 回押すこともできます。

コールへの応答とコールの終了

項目	操作
コールへの応答	着信コールに接続するには、 ☎ (緑色のキー)を押して離します。
着信コールの呼び出し音の無音化	呼び出し音を無音にするには、 🔇 (赤色のキー)を押します。コールは無音のまま続き、その後、ボイスメッセージや別の電話機など、無応答の場合の宛先に転送されます。
接続中のコールから呼び出し中のコールへの応答	Answer または ☎ (緑色のキー)を押します。この操作を行うと、新しいコールに応答し、自動的に最初のコールを保留にできます。P.52の「コールの保留」を参照してください。
別の電話機で呼び出し中のコールへの応答	コールピックアップを使用します。P.66の「電話機でのリダイレクトされたコールのピックアップ」を参照してください。

項目	操作
別の電話機（オフィスの電話機）で保留中のコールの取得	コールパークを使用します。 P.64の「コールパークとパーク中のコールの取得」を参照してください。
着信コールのボイスメッセージシステムへの直接送信	iDivert を押します。着信コールは自動的にボイスメッセージシステムに転送されます。
呼び出し音が1回または2回鳴った後の着信コールへの自動接続	自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。☎を押さなくても、呼び出し音が1回または2回鳴った後で、コールは通話者に接続されます。
コールの終了	EndCall または  (赤色のキー) を選択して電話を切ります。

コールの消音

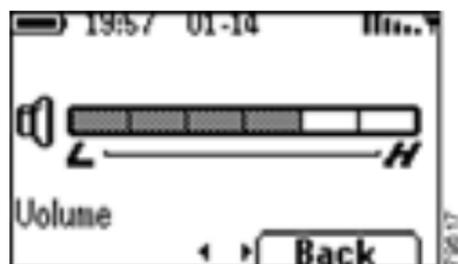
電話機のマイクをオフにする場合は、消音機能を使用できます。

項目	操作
コールの消音	通話中に MuteOn を押します。ラベルが MuteOff に変わります。
消音のキャンセル	MuteOff を押します。ラベルが MuteOn に変わります。

スピーカ音量の調節

項目	操作
コール中の音量の変更	▲を押して、回線 1 のコールのスピーカの音量を調節します。 ▲を 2 回押して、回線 2 のコールのボリュームを調節します。
コールの音量の変更	◀または▶を押して、Volume を表示します。スピーカ音量の調節を開始するには、Volume を押します。
音量の調節	図 3-1 に示すように、▶を押して音量を上げるか、◀を押して音量を下げます。電話機の電源を切っても、調整したボリュームの設定はそのまま残ります。

図 3-1 スピーカ音量の調節



ヒント

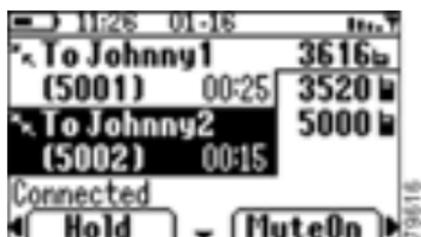
電話機の電源を切った後もスピーカ音量の調整を維持するには、P.103 の「アクティブなプロファイルのスピーカ音量の変更」を参照してください。

コールの保留

一時点でアクティブなコールは1つだけであるため、コールへの応答中は他のコールを保留にする必要があります。

項目	操作
コールの保留	通話中に Hold を押します。ラベルが Resume に変わります。
保留中のコールの再開	保留中のコールに再接続するには、 Resume を押します。
接続された2つのコールからの選択	画面に表示されている異なるコール間をスクロールします。 図 3-2 を参照してください。
卓上の電話機と無線電話機間での共有回線のコールの切り替え	アクティブ コールに接続している電話機から Hold を押します。共有回線に接続した、もう一方の電話機から Resume を押してコールに接続します。

図 3-2 接続された 2 つのコールからの選択



コールの転送

接続されているコールを転送します。宛先は、コールを転送する番号です。

項目	操作
転送の受信者と会話せずにコールを転送する	▶を押し、Trnsfer に切り替えて押します。宛先の電話番号を入力します。呼び出し音が聞こえたら、もう一度 Trnsfer を押し、転送を完了します。
転送の受信者と会話してからコールを転送する	▶を押し、Trnsfer に切り替えて押します。宛先の電話番号を入力します。受信者がコールを受け入れたら、もう一度 Trnsfer を押して転送を完了します。 受信者がコールを拒否した場合は、Resume を押して元のコールに戻ります。

項目	操作
2つの接続中のコールを相互に転送する（直接転送）	スクロールして接続中の任意のコールを選択し、 Select を押します。2番目のコールに対して同じ操作をします。選択した一方のコールに対して▶を押し、 DirTrfr に切り替えて押します。2つのコールは相互に接続し、コールから転送者を削除します。転送者をコールに残して会議を行うには、 Join を使用します。

電話会議の使用

電話会議では、同時に 3 人以上の参加者がコールに参加できます。ご使用の Cisco IP Phone は、設定に応じて複数のタイプの電話会議をサポートします。システム管理者に問い合わせて、ご使用の電話機で使用できるタイプを確認してください。次の会議用のソフトキーが使用できます。

- **Confrn** : 各参加者に個別に電話することによって電話会議を開始します。この電話会議は、ほとんどの電話機で使用できます。
- **Join** : 単一の回線で接続中の複数のコールで電話会議を開始します。
- **cBarge** : 共有回線で電話会議を開始するために使用します。このオプション機能は、共有回線でのみ使用可能です。
- **Meet-Me** : 参加者が特定の時間に設定された番号に電話する必要がある会議を主催するために使用します。この特殊機能は、システム管理者が設定する必要があります。詳細については、P.59 の「Meet-Me 電話会議の開始方法および参加方法」を参照してください。

標準電話会議の開始方法

項目	操作
<p>参加者に電話して電話会議を開始する</p>	<p>最初の参加者に電話します。コールに別の相手を追加するには、Confrn を押して(ソフトキーを検索するには▶を押します)、その次の参加者の電話番号を入力します。</p> <p>コールが接続され、該当の参加者と会話した後で、もう一度 Confrn を押し、その相手を電話会議に追加します。</p> <p>この手順に従って、各参加者を電話会議に追加します。</p>
<p>接続中の通話者を標準会議に参加させる</p>	<p>単一回線の2つのコールで、接続中の非アクティブなコールにスクロールして選択し、Select を押します。選択したコールから、Join を押します (Join を検索するには▶を押します)。アクティブなコールは選択されると自動的に会議に追加されることに注意してください。</p>

項目	操作
共有回線のコールに C 割り込み (自分自身の追加) を行い、コールを会議に切り替える	共有回線でコール (リモートで使用中) を選択し、 cBarge を押します (cBarge を検索するには、 ▶ を押します)。コールの他の参加者に割り込みトーンが聞こえます。詳細については、P.68 の「共有回線の使用方法」を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	アクティブな会議を選択し、 ConfList を押します。参加者は会議に参加した順に上から一覧表示されます。
会議の参加者の更新済みリストを取得する	会議のリストを表示しているときに、 Update を押します。
会議の参加者を削除する	会議のリストを表示しながら、参加者の名前にスクロールして Remove を押します。 電話会議を開始したユーザだけが参加者を削除できます。

項目	操作
会議に追加した最後の参加者を削除する	電話会議中に▶を押して RmLstC に切り替え、ソフトキーを押します。 電話会議を開始したユーザだけが参加者を削除できます。
標準電話会議を終了する	EndCall または  を選択して、電話会議を終了します。

ヒント

標準電話会議では、3人～16人が参加できますが、追加できる相手の数はシステム管理者によって設定されます。

Meet-Me 電話会議の開始方法および参加方法

Meet-Me 会議では、参加者は会議番号に直接電話することによって会議に参加できます。会議の開催者からの電話に待機する必要はありません。

項目	操作
Meet-Me 電話会議の開始	<p>▶を押して MeetMe に切り替えます。MeetMe を押し、Meet-Me 会議番号をダイヤルします。使用できる番号のリストについては、システム管理者に問い合わせてください。</p> <p>参加者がダイヤルインできるように会議の番号を通知してください。ただし、開催者がダイヤルインする前に参加者が会議番号に電話すると、参加者にはビジー トーンが聞こえます。</p>
Meet-Me 電話会議への参加	<p>Meet-Me 会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p>開催者がダイヤルインした後でなければ、会議に参加できません。</p>
Meet-Me 電話会議の終了	<p>EndCall または  を選択します。Meet-Me 会議は、2 人以上の参加者が残っていると続行します。</p>

別の番号へのコールの転送

Call Forward All を使用して、Cisco IP Phone から別の番号へ着信コールをリダイレクトできます。



ヒント Call Forward All の宛先番号は、卓上の電話機から実際にダイヤルするとおりに入力します。たとえば、必要に応じて9などのアクセスコードやエリアコードを入力します。

項目	操作
プライマリ回線でのコール転送の設定	▶を押して、CFwdAll に切り替えます。CFwdAll を押して、宛先の内線番号または電話番号を入力します。画面に「Forwarded to <宛先番号>」と表示されます。
プライマリ回線でのコール転送のキャンセル	CFwdAll を押します。「Forwarded to <番号>」メッセージが消えます。

項目	操作
任意の回線の コール転送の設 定またはキャン セル	<p>Cisco CallManager の IP Phone の ユーザ オプション Web ページ にログインし、ご使用の Cisco 7920 デバイスを選択します。メニューから Forward all calls... を選択します。ご使用の電話機の各回線のコール転送を設定またはキャンセルできます。詳細については、『<i>Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ</i>』を参照してください。</p>

ヒント

- コールを任意の電話番号に転送できます。ただし、システム管理者によってコール転送機能が社内の電話番号に制限される場合があります。
- ご使用の電話機からコール転送をキャンセルできます。Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページで設定した場合でも同様です。詳細については、P.112 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
- ご使用の電話機の各回線についてコール転送を設定する必要があります。



高度なコール処理

高度なコール処理作業には、特殊な機能へのアクセスが必要です。ユーザのコール処理のニーズと作業環境に応じて、システム管理者がユーザの電話機にこのような機能を設定する場合があります。

コールパークとパーク中の コールの取得

Cisco CallManager システム内の別な電話機(同僚の机の上の電話機や会議室の電話機など)から、自分または他のユーザがコールを取得できるように保存する場合、コールを「パーク」できます。コールパークは特別な機能のため、システム管理者に設定を依頼する必要があります。

項目	操作
コールパークを使用したアクティブなコールの保存	<p>通話中に▶を押し、Park に切り替えて押します。コールが保存されます。</p> <p>電話画面に、特定のコールパーク番号が表示され、この番号にコールが保存されます。コールパーク番号をメモします。</p>
パーク中のコールの取得	Cisco CallManager システム内の任意の電話機から該当のコールパーク番号を入力し、コールに接続します。

ヒント

パーク中のコールに応答するまでの時間には、制限があります。この制限を超えると、コールは元の電話に戻されます。この時間制限については、システム管理者に問い合わせてください。

電話機でのリダイレクトされたコールのピックアップ

同僚とコール処理を共有する場合、システム管理者はユーザの電話機でコールピックアップを有効にしていることがあります。コールピックアップを使用すると、呼び出し中のコールをご使用の電話機にリダイレクトして同僚の電話機でコールに応答できます。コールピックアップを使用して、同じピックアップグループ (PickUp) 内の同僚または他のピックアップグループ (GPickUp) 内の同僚のコールを処理できます。

項目	操作
同じコールピックアップグループ内の別の内線呼び出しているコールに応答する	▶を押して PickUp に切り替えます。次に PickUp を押すと、コールによって電話機が鳴ります。Answer を押して、コールに接続します。
ピックアップグループ外の内線呼び出しているコールに応答する	▶を押して GPickUp に切り替え、GPickUp を押して、コールグループのピックアップコードをダイヤルします。コールによって電話機が鳴ります。Answer を押して、コールに接続します。

ヒント

- コール グループのピックアップ コードはシステム管理者から入手します。
- **PickUp** または **GPickUp** を押すと、最も長く呼び出しているコールに接続します。

共有回線の使用方法

システム管理者によって「共有」回線が設定されていることがあります。共有回線機能は、標準の非共有回線には適用されません。通常、共有回線には2つの用途があります。

- 1人のユーザが複数の電話機に共有回線を使用：たとえば、共有回線 23456 を無線 IP 電話とオフィスの卓上の電話機に使用します。23456 への着信コールで卓上の電話機と無線 IP 電話が鳴ります。いずれかの電話機でコールに応答します。
- 複数のユーザが回線を共有：たとえば、マネージャが回線および内線番号をアシスタントと共有します。内線への着信コールによって両方の電話機が鳴ります。

共有回線の場合、電話画面上に「in-use-remote」というメッセージが表示されることがあります。これは同僚が共有回線を現在使用しているという意味です。共有回線で通常どおりコールを発信したり、受信したりできます。remote-in-use メッセージが表示されている場合も同様です。

共有回線でサポートされる最大コール数

共有回線でサポートされている最大コール数は、電話機のモデルによって異なります。たとえば、Cisco 無線 IP 電話 7920 では、共有回線で最大 2 つのコールをサポートしていますが、Cisco IP Phone 7960 では、共有回線で 4 つのコールをサポートできます。回線に 2 つのコールがある場合、NewCall ソフトキーを使用できるユーザと使用できないユーザがあります。

コール情報の共有と割り込み

電話画面に、同僚が共有回線上で発信および受信したコールについての情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および 通話期間が含まれます。また、共有回線を使用しているときに、自分のコールについての情報が同僚の電話画面に表示されます。

電話画面上にコール情報が表示されている場合、割り込み機能を使用することによって、共有回線のコールに自分自身や同僚を追加できます。

割り込み：組み込みブリッジを有効にしている IP 電話モデルとの共有回線のコールに参加できます。割り込みを使用して、他の Cisco 無線 IP 電話 7920 との共有回線のコールに参加することはできません。

C 割り込み：任意の IP 電話モデルとの共有回線のコールに参加し、コールを会議に切り替えることができます。

プライバシー：回線を共有している同僚に自分のコールに関する情報を見られたくない場合、プライバシー機能を有効にします。また、プライバシー機能を使用すると、同僚はコールに割り込むことができません。P.72 の「他人による共有回線のコールの表示または参加の防止」を参照してください。

項目	操作
同僚が共有回線でアクティブなコールを使用しているかどうかを確認する	電話画面で、「In Use Remote」がステータス行に表示され、発信者側の ID が行番号の隣に表示されるかどうかを確認します。

項目	操作
割り込みを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<p>画面上で「in-use-remote」のコールを選択し、Barge を押します。共有回線のユーザにトーンが聞こえ、「To Barge」が画面上に表示されます。Cisco IP Phone（割り込みが有効になっている）が開催したコールだけに参加できます。</p>
C 割り込みを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<p>画面上で「in-use-remote」のコールを選択し、cBarge を押します。他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話画面のコール情報が変更されます。</p> <p>C 割り込みはコールを会議に切り替え、これによってユーザは新しい参加者を電話会議に追加できるようになります。詳細については、P.56の「電話会議の使用」を参照してください。</p> <p>電話を切ると、回線に3人以上の参加者が残っている場合に限り、コールは電話会議として続行します。</p>

項目	操作
共有回線のコールを共有回線に接続している他の電話機に移動させる	Hold を押します。共有回線に接続している他の電話機で、Resume を押します。

ヒント

- Barge および cBarge ソフトキーは、プライベートコールでは使用できません。
- コールが保留状態になるか、転送されるか、または電話会議に切り替えられた場合、Barge を使用して参加しているコールから、ユーザは切断されます。

他人による共有回線のコールの表示または参加の防止

回線を共有している場合、プラバシー機能を有効にすると、回線を共有している他のユーザがその回線のコールを表示したり、そのコールに参加したりできなくなります。

項目	操作
他人が共有回線のコールを表示したり参加したりできないようにする	Private を押します。プライバシーを有効にすると、プライバシーが有効になっていることを示すアイコン  が電話画面の電話番号の隣に表示されます。
他人が共有回線のコールを表示したり参加したりできるようにする	Private を押します。プライバシーを無効にすると、プライバシーが無効になっていることを示すアイコン  が電話画面の電話番号の隣に表示されます。

ヒント

- 共有回線でプライバシーを有効にしている状態でコールを発信すると、回線を共有している他の電話機に「in use remote」とは表示されません。つまり、回線が使用中であるという通知はありません。
- 同じ回線を共有している他の電話機がプライバシーを有効にしている場合でも、その共有回線を使用して新しいコールを発信することができます。ただし、共有回線を使用して進行中のコールに参加することはできません。

不審なコールのトレース

不審または迷惑なコールを受信している場合、システム管理者は、電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用するとアクティブなコールと不審なコールとを見分けることができます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

項目	操作
不審なコールを識別する	MCID を押します。MCID 要求が正常終了すると、特別なトーンが聞こえ、「MCID successful」というメッセージが電話機に表示されます。コールは、終了しない限りアクティブです。

重要なコールの優先順位付け

政府機関や軍事施設のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。重要なコールは、プライオリティの高い処理(他のコールを後回しにするなど)を必要とします。特別なコール処理機能が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

項目	操作
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリスト (プライオリティの低い順) については、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールを発信する	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。

項目	操作
プライオリティ (Precedence) コールを受信する	特別なコール待機のトーンが鳴り、着信コールを示す特別なアイコンが表示されます。
コールのセキュリティレベルを表示する	プライオリティの高い順に、コールのリストの先頭から表示されます。次のアイコンがプライオリティを表示します。 (アイコンなし) 通常のコール <ul style="list-style-type: none"> ▣ プライオリティ コール ▣ 中程度のプライオリティの (即時) コール ▣▣ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ▣▣▣ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール
プライオリティの高いコールを受信する	特別なコール待機のトーンが鳴り、アクティブなコールを終了させてプライオリティの高いコールに応答します。

項目	操作
Preemption コールを受信する	コールがアクティブなときに 10 秒間ほど続くトーンが聞こえます。Preemption コールがアクティブなコールと入れ替わります。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。



電話帳機能と短縮ダイヤル機能の使用方法

Directory メニューを利用すると、次の機能を使用できます。

- 個人電話帳
- 短縮ダイヤル
- 社内ディレクトリ

これらの機能を設定し使用するために、ここでは次の項について取り上げます。

- 電話帳の使用方法 (P.81)
- 短縮ダイヤル ホットキーの設定 (P.88)

Cisco 無線 IP 電話 7920 には、ローカルの個人電話帳が付属しています。個人電話帳を使用して、電話帳エントリの表示、電話帳エントリの追加と編集、および短縮ダイヤル番号の設定ができます。電話帳のエントリには、**PhBook** ソフトキーを押すことによってアクセスできます。



(注)

ご使用の電話機には、**PhBook** ソフトキーの代わりに **Svcs** ソフトキーが表示される場合があります。その場合、電話帳エントリにアクセスするには、**Menu > Directory > Phone Book** を選択する必要があります。

電話帳の使用方法

項目	操作
電話帳の参照とエントリのリストの表示	<p>PhBook を押します。エントリ名が表示されます。</p> <p>電話帳エントリが存在しない場合は、「Empty」と表示されます。</p>
電話帳のエントリの表示	<p>目的の電話帳エントリにスクロールして、Detail を押します。名前や電話番号のリストなど、電話帳エントリの項目が表示されます。</p>
電話帳からの番号のダイヤル	<p>PhBook を押して、エントリにスクロールします。</p> <p> を押して番号をダイヤルします。電話帳エントリの最初の番号がダイヤルされます。</p>
電話帳からの特定の番号のダイヤル	<p>PhBook を押して、エントリにスクロールします。Detail を押して、目的の電話番号にスクロールします。</p> <p> を押して番号をダイヤルします。</p>

項目	操作
既存の電話帳エントリの編集	<p>PhBook を押して、エントリにスクロールします。Detail を押して、編集するエントリの項目にスクロールします。図 5-1 を参照してください。</p> <p>Edit を押して、P.37 の「テキストの入力と編集」の手順に従います。</p> <p>エントリの編集が完了したら OK を押し、Save を押します。</p>

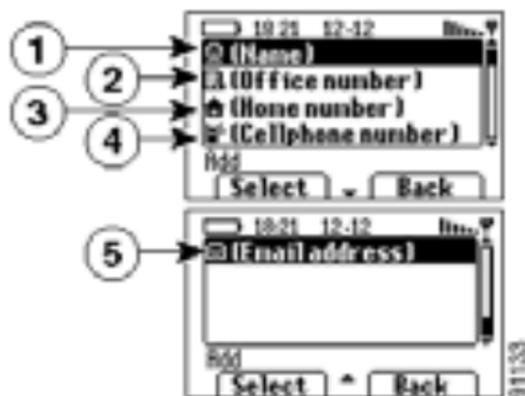
電話帳のエントリの追加または変更

Directory メニューを使用して、新しい電話帳エントリを追加したり、既存のエントリを編集することができます。各電話帳エントリの電話番号は、実際にダイヤルする場合とまったく同じように入力する必要があります。図 5-1 に示す情報を追加することができます。



(注) システム管理者は、7920 設定ユーティリティを使用して、電話帳エントリや短縮ダイヤルエントリを電話機に追加することができます。

図 5-1 電話帳エントリ



1	連絡先の名前
2	オフィスの電話番号エントリ
3	自宅の電話番号エントリ
4	携帯電話番号エントリ
5	電子メールアドレスエントリ

項目	操作
電話帳エントリの参照	Menu を押して Directory > Phone Book を選択します。次に、 Names を選択し、エントリを表示します。
電話帳エントリの情報の表示	電話帳エントリにスクロールして、 Detail を押します。
新しい電話帳エントリの追加	<p>Menu > Directory > Phone Book > Add を選択します。図 5-1 に示す画面が表示されます。</p> <p>エントリ項目にスクロールして、Select を押します。P.37 の「テキストの入力と編集」の手順に従って、名前または電話番号を入力します。</p> <p>入力が完了したら OK を押し、Save を押します。</p> <p>Back を押して Directory メニューに戻ります。</p>

項目	操作
<p>既存の電話帳エントリの編集</p>	<p>Menu > Directory > Phone Book > Names を選択し、エントリにスクロールします。Detail を押して、自宅番号などの編集対象項目にスクロールします。</p> <p>P.37 の「テキストの入力と編集」の手順に従って項目を編集します。</p> <p>完了したら OK を押し、Save を押します。</p> <p>Back を押して Directory メニューに戻ります。</p>
<p>電話帳エントリの削除</p>	<p>Menu > Directory > Phone Book > Names を選択し、エントリにスクロールします。◀または▶を押して、Erase に切り替えます。</p> <p>Erase を押し、OK を押して、電話レコードの削除を確認します。</p> <p>▶を押して Back に切り替え、ソフトキーを押して Directory メニューに戻ります。</p>

ヒント

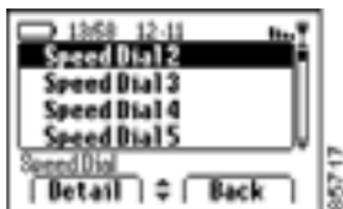
- 外部の電話番号を追加する場合は、9 などの外部アクセス番号、および 1 やエリアコードも含めた電話番号全体を入力します。
- 社内ディレクトリを使用するには、P.43 の「社内ディレクトリ リストからのダイヤル」を参照してください。

短縮ダイヤル ホットキーの設定

Cisco 無線 IP 電話 7920 のキーパッドで、数字キー (2 ~ 9) は短縮ダイヤル番号にアクセスするホットキーになります。8 つの短縮ダイヤルホットキーに電話番号を割り当てることができます。番号 1 のキーはボイス メッセージ システムへのアクセス用に予約されています。

項目	操作
短縮ダイヤルメニューへのアクセス	<p>Menu を押し、Directory > Phone Book を選択します。Speed Dial にスクロールして選択します。短縮ダイヤルのホットキーが図 5-2 に表示されます。</p> <p> (注) 短縮ダイヤルのホットキーに電話番号が割り当てられると、<input checked="" type="checkbox"/> がホットキーの隣に表示されます。</p>
短縮ダイヤルホットキーに割り当てられた電話番号の表示	目的の短縮ダイヤル < 番号 > にスクロールして、Detail を押します。図 5-2 を参照してください。

図 5-2 Speed Dial メニュー



項目	操作
短縮ダイヤル ホットキーへの 電話番号の割り 当て	<p>使用可能な短縮ダイヤルのホットキーにスクロールして、Detail を押します。</p> <p>Edit を押して情報を入力します。P.37 の「テキストの入力と編集」を参照してください。OK を押して短縮ダイヤル番号を保存し、Back を押してメニューを終了します。</p>
短縮ダイヤル ホットキーの電 話番号の変更	<p>設定済みの短縮ダイヤル番号にスクロールして、Detail を押します。</p> <p>Edit を押して、既存の電話番号を変更またはクリアします。変更を確認するには OK を押し、Back を押してメニューを終了します。</p>

項目	操作
短縮ダイヤル ホットキーによる 電話番号の短縮 ダイヤル	<p>使用する短縮ダイヤルのホットキーに対応する  (2 ~ 9) を押し続けます。該当のホットキーに保存されている番号が表示され、ダイヤルされます。</p>
電話画面に表示 される短縮ダイ ヤル番号の追加 または変更	<p>Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページにログインし、ご使用の Cisco 7920 デバイスを選択します。メインメニューから [短縮ダイヤルの追加または更新] を選択します。</p> <p>この Web ページで電話番号と名前を入力することにより、短縮ダイヤル番号を設定または変更することができます。</p> <p>短縮ダイヤルの詳細については、『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。</p>

項目	操作
短縮ダイヤルのインデックス番号による電話番号の短縮ダイヤル	<p>短縮ダイヤルのインデックスを入力して Abbr を押します。</p> <p>ユーザ オプション Web ページを使用して、最大 99 個の短縮ダイヤル番号を設定できます。</p>

ヒント

- 画面に、ユーザ オプション Web ページで設定された短縮ダイヤル番号の最初の数個の名前が表示されます。短縮ダイヤルのリストからコールを発信するには、名前にスクロールして  を押します。
- 必要に応じて、9 などのプレフィクスやエリアコードも含めて、実際にダイヤルする場合とまったく同じように外部の電話番号を入力する必要があります。



ボイス メッセージと通話履歴ログの使用方法

Cisco 無線 IP 電話 7920 のメイン メニューでは、ボイス メッセージ サービスと通話履歴ログにアクセスできます。

ボイス メッセージの再生

電話機に「You have voice mail」と表示された場合は、Messages メニューまたはショートカット キー  を使用してメッセージにアクセスできます。

項目	操作
ボイスメッセージサービスの個人設定	Menu を押し、▶を押して Messages を選択します。 Voice Mail Box を選択して音声ガイダンスに従います。ボイスメッセージサービスのデフォルトのパスワードは、システム管理者が用意します。
ボイスメッセージへのアクセスとメッセージの再生	Menu を押し、▶を押して Messages を選択します。 Voice Mail Box を選択します。パスワードを入力し、音声ガイダンスに従ってメッセージを聞きます。
ショートカットキーを使用したボイスメッセージへのアクセス	スタンバイ モードの場合は、  を押して離すとすぐにアクセスできます。ボイスメッセージのパスワードを入力し、音声ガイダンスに従ってメッセージを聞きます。

ヒント

- ボイス メッセージ サービスの使用方法に関する正確な情報と詳細については、ボイス メッセージ システムのマニュアルを参照してください。
- セキュリティ上の理由から、デフォルトのパスワードをできるだけ早く変更する必要があります。

Call History メニューからの通話の表示と発信

通話履歴ログでは、不在着信、着信、および発信のリストを表示することができます。リストのいずれかから直接番号をダイヤルすることもできます。

項目	操作
不在着信、着信、または発信の表示	Menu を押し、◀または▶を押し、Call History を選択します。 Missed Calls、Received Calls、または Placed Calls にスクロールして選択します。 該当の番号にスクロールして、Detail を押し、通話の情報を参照します。

項目	操作
Missed Calls、 Received Calls、 または Placed Calls リストか らの番号のダイ ヤル	<p>ダイヤルする番号にスクロールして、Detail を押します。ログに表示された番号を編集（プレフィックスの追加や削除など）する必要がある場合、EditDial を押します。次に、◀または▶を押して、カーソルの位置を移動するか、数字を消去します。数字を入力するには、キーパッドを使用します。</p> <p> を押して番号をダイヤルします。</p>
通話履歴の削除	<p>Menu > Call History を押します。Erase Call History にスクロールして選択します。</p> <p>OK を押して通話履歴全体を削除します。または、Back を押して Call History メニューに戻ります。</p> <p></p> <p>(注) OK を押した後は、通話履歴ログがすべて空になります。</p>



プロファイルの使用方法和変更方法

Cisco 無線 IP 電話 7920 には、次のプロファイルのタイプがあります。

- ユーザ プロファイル (P.100)
- ネットワーク プロファイル (P.107)

Profiles メニューにアクセスすると、システム管理者の電話機の設定方法によって、画面に「Not Available」と表示されることがあります。

ユーザ プロファイル

事前定義されたユーザ プロファイルを使用すると、電話機の呼び出し音やトーンをすぐに変更することができます。さまざまな作業環境に応じて、次のプロファイルを選択することができます。

- Normal
- Silent
- Meeting
- Outdoors

たとえば、屋外で作業する場合は、Outdoors プロファイルを選択すると自動的に呼び出し音音量やスピーカ音量が上がります。Meeting プロファイルを選択すると、呼び出し音音量が最低レベルまで下がります。また、Silent プロファイルを選択して、呼び出し音をオフにすることもできます。

次の表は、ユーザ プロファイルのデフォルト設定の一覧です。

設定のタイプ	プロファイル			
	Normal	Silent	Meeting	Outdoors
Speaker Volume	3	3	3	5
Ring Volume	4	0	1	6
Incoming Call Alert	On	Off	On	On
Vibrating Call Alert	Off	Off	Off	On
Keypad Tones	Off	Off	Off	On
Warning Style	Tone	Off	Off	Tone

ユーザ プロファイル設定のオプション

Profiles メニューからプロファイルを選択したら、デフォルト設定を使用するか、必要に応じて設定を調整することができます。

たとえば、Normal プロファイルを選択して、Warning Tone を Tone から Vibrate に変更してもかまいません。

表 7-1 は、Profiles メニューで使用可能なプロファイルの設定とオプションを示しています。

表 7-1 プロファイル設定変更のオプション

プロファイル設定	設定オプション		
	Activate	Select	Deselect
Speaker Volume	Up	Down	
Ring Volume	Up	Down	
Incoming Call Alert	On	Off	
Vibration Call Alert	On	Off	
Keypad Tones	On	Off	
Warning Style	Off	Tone	Vibration

ユーザ プロファイルの設定

プロファイルをアクティブにしてから、そのプロファイルの設定を調整することができます。

項目	操作
アクティブなユーザプロファイルの表示	<p>Menu を押し、▶または◀を押し、Profiles に切り替え、Select を押します。Password にスクロールして、Select を押します。</p> <p>アクティブなプロファイルの横には <input checked="" type="checkbox"/> が付いています。</p>

項目	操作
異なるプロファイルの選択	<p>異なるプロファイルにスクロールし、Select を押してそのプロファイルの設定にアクセスします。Activate を選択してプロファイルを変更します。新しいプロファイルの隣に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。</p> <p>Back を押してメニューに戻ります。</p>
アクティブなプロファイルのスピーカ音量の変更	<p>Menu > Profiles > User Profile を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。Speaker Volume にスクロールして選択します。</p> <p>▶を押してボリュームを上げるか、◀を押してボリュームを下げます。</p> <p>Back を押して、変更します。</p>

項目	操作
アクティブなプロフィールの呼び出し音量の変更	<p>Menu > Profiles > User Profile を選択して、アクティブなプロフィールを選択します。Ring Volume にスクロールして選択します。</p> <p>▶を押してボリュームを上げるか、◀を押してボリュームを下げます。Back を押して、変更を確認します。</p>
アクティブなプロフィールの着信コールアラートの変更	<p>Menu > Profiles > User Profile を選択して、アクティブなプロフィールを選択します。</p> <p>Incoming Call Alert にスクロールして選択します。</p> <p>Off または On にスクロールして選択し、着信コールアラート機能を制御します。</p>

項目	操作
アクティブなプロファイルのバイブレーションコールアラートの変更	<p>Menu > Profiles > User Profile を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。</p> <p>Vibration Call Alert にスクロールして、選択します。</p> <p>Off または On にスクロールして選択し、バイブレーションコールアラート機能を制御します。</p>
アクティブなプロファイルのキーパッドトーンの変更	<p>Menu > Profiles > User Profile を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。Keypad Tone にスクロールして選択します。</p> <p>Off または On にスクロールして選択し、キーパッドトーン機能を制御します。</p>

項目	操作
アクティブなプロフィールの警告スタイルの変更	<p>Menu > Profiles > User Profile を押して、アクティブなプロフィールを選択します。Warning Style にスクロールして選択します。</p> <p>次のいずれかにスクロールします。</p> <p>Off : 警告メッセージを送信しません。</p> <p>Tone : 警告メッセージとともに音を発します。</p> <p>Vibration : 警告メッセージとともに振動します。</p> <p>Select を押して、警告スタイルを変更します。</p>

ヒント

- 弱い信号やバッテリー低下を検出すると、電話機に警告メッセージが表示され、警告トーンが送信されるか、電話機が振動します。
- アクティブなプロフィール設定の隣に が表示されます。
- 電話機の電源をオフにした後もスピーカ音量の設定を維持するには、アクティブなプロフィールの音量を変更します。

ネットワーク プロファイル

ネットワーク プロファイルは、Wireless Local Area Network (WLAN; 無線 LAN) へのアクセス、およびシステムにおける認証と暗号化についての事前定義された設定を提供します。システム管理者がネットワーク プロファイルを定義します。異なる場所で WLAN 設定にアクセスできるように、複数のネットワーク プロファイルが利用できることがあります。

たとえば、地方のオフィスで作業している場合、その地域のネットワーク プロファイルを選択することができます。他のオフィスで作業する場合、ここでは WLAN が異なる SSID と認証設定を使用していることがあります。そのため、異なるプロファイルを選択する必要があります。

ネットワーク プロファイルの変更

Cisco 無線 IP 電話 7920 では、ネットワーク プロファイルを4つまで設定することができます。自動的にプロファイルをスキャンし、WLAN 固有の正しい SSID をもつネットワーク プロファイルを選択するように電話機を設定できます。

追加のネットワーク プロファイルが必要かどうか、またはプロファイルの設定を変更する必要があるかどうかについては、システム管理者にお問い合わせください。

項目	操作
アクティブなネットワークプロファイルを表示する	<p>Menu を押し、◀または▶を押して Profiles に切り替え、Select を押します。Network Profile にスクロールして、Select を押します。</p> <p>アクティブなプロファイルの横には <input checked="" type="checkbox"/> が付いています。</p>
プロファイルをスキャンして WLAN に自動的に接続する	<p>Menu > Profiles > Network Profile を選択し、Auto にスクロールして Select を押します。Activate を選択して、プロファイルを変更します。Auto の隣に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。</p> <p>Back を押してメニューに戻ります。</p>

項目	操作
異なるプロファイルを選択する	異なるプロファイルにスクロールし、 Select を押してそのプロファイルの設定にアクセスします。 Apply Change を選択して、新しいプロファイルを選択します。アクティブなプロファイルの隣に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。

ヒント

- **Network Profiles** > 「**アクティブなプロファイル**」 > **802.11b Configuration** > **LEAP** を選択して、LEAP のユーザ名とパスワードを入力または変更できます。P.35 の「パスワードの設定」を参照してください。
- 最初にシステム管理者に問い合せてから、ネットワーク プロファイルの設定の変更を行ってください。
- システム管理者に問い合せると、**Network Profiles** メニューのメニュー オプションおよび設定について詳しい情報がわかります。
- ご使用の電話機の現在のネットワーク設定を表示するには、P.129 の「ネットワーク設定の表示」を参照してください。



Cisco IP Phone サービス の使用方法

Cisco 無線 IP 電話 7920 はネットワーク デバイスなので、ご使用のコンピュータも含め社内のネットワーク デバイスと情報を共有することができます。

Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、電話サービスの設定および設定や機能の制御をコンピュータから行うことができます。Web ページで機能とサービスを設定しておく、電話機でアクセスできるようになります。

たとえば、Web ページで追加の短縮ダイヤル番号を設定すると、電話機でアクセスできるようになります。

この項では、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法と、電話サービスへの登録方法について説明します。設定可能な機能と、登録可能な電話サービスの詳細については、『*Web での Cisco IP Phone カスタマイズ*』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。

ユーザ オプション Web ページへのログイン

ログインしてユーザ オプション Web ページを使用するには、次の手順に従います。

手順

1. ユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。
2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、システム管理者から提供された URL を入力します。
3. ユーザ ID とパスワードを入力してから、[ログイン] をクリックします。

Cisco CallManager のユーザ オプション メニューが表示されます。

4. 「設定するデバイスまたはデバイス プロファイルを選択してください」ドロップダウンリストから、**IP Phone 7920** を選択します。

コンテキスト メニューと電話機の機能が表示されます。

5. 機能オプションをクリックして設定 Web ページを表示し、適切に選択して変更します。
 6. 変更内容を適用して保存するには、[更新] をクリックします。
 7. ユーザ オプション メニューに戻るには、[メニューに戻る] をクリックします。
 8. ユーザ オプション Web ページを終了するには、[ログオフ] をクリックします。
-

IP Phone サービスへの登録

電話機から IP Phone サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、IP Phone サービスに登録する必要があります。システム管理者にユーザ オプション Web ページの URL を問い合わせます。

サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 個人アドレス帳（PAB）や PAB からのファーストダイヤル サービスなどの電話機能

項目	ログイン後の操作
サービスへの登録	[Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。[使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。指示に従って情報（ユーザ名や PIN など）を入力し、[登録] をクリックします。

項目	ログイン後の操作
登録の変更または解除	[Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。[登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。登録内容を変更して [更新] をクリック、または [登録解除] をクリックします。

IP Phone サービスへのアクセス

電話サービスに登録すると、電話メニューから次のサービスにアクセスできます。

項目	操作
使用可能な情報サービスの表示	Menu を選択してから、▶を押して Services に切り替えます。Select を選択して登録したサービスを表示します。
情報サービスのアクセス	Menu > Services を選択します。目的のサービスまでスクロールし、Select を押して詳細なサービス情報を表示します。
サービスの終了	Exit と Back を押してメイン画面に戻るか、  を押します。

ヒント

- Service メニューは、メインメニューでは「Svcs」ソフトキーとして表示されることがあります。システム管理者がこのオプションを設定します。
- 登録可能な電話サービスの詳細については、『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から

入手できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm



電話設定のカスタマイズと電話ステータスの表示

呼び出しトーンや画面の設定などの設定を調整することにより、電話機をカスタマイズすることができます。

電話ロック機能を有効にすることによって電話機へのアクセスを保護することができます。電話機の電源をオンにした後で、電話機が無線ネットワークで認証する前に、パスワードを入力する必要があります。

Profiles Settings メニューにアクセスすると、システム管理者の電話機の設定方法によって、画面に電話ステータスしか表示されないことがあります。

電話機のトラブルシューティングの際に、電話機のソフトウェアやネットワーク設定についての情報の表示が必要になることがあります。詳細については、次の項を参照してください。

- 電話ステータスの表示 (P.127)
- ネットワーク設定の表示 (P.129)

電話設定の変更

Phone Settings メニューを使用して、Cisco 無線 IP 電話 7920 の電話設定オプションを複数の中から選択することができます。Phone Settings メニューのオプションが表示されない場合は、システム管理者によってその電話のローカル設定が制限されています。

呼び出しトーンの設定の変更

呼び出しトーンの設定にアクセスするには、**Menu** を押し、◀または▶を押して Phone Settings メニューに切り替えます。**Phone Settings** を選択すると、オプションのリストが表示されます。

項目	操作
各内線の呼び出しトーンの変更	<p data-bbox="427 212 931 351">Ring Tones にスクロールして選択し、Select Ring Tone にスクロールして選択します。</p> <p data-bbox="427 381 931 709">特定の呼び出しトーンを割り当てる内線を選択し、目的の呼び出しトーンにスクロールして選択します。選択した呼び出しトーンが再生され、その横に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。Back を押して Phone Settings に戻ります。</p> <p data-bbox="427 740 931 917">2 つのデフォルトの呼び出しトーン、およびユーザがダウンロードした 1 つの呼び出しトーンの中から選択できます。</p>

項目	操作
<p>Cisco CallManager からの呼び出しトーンのダウンロード</p>	<p>Ring Tones>Download Ring Tone を選択します。リストで目的の呼び出しトーンにスクロールして、選択します。◀または▶を押して Play を表示し、これを押して選択した呼び出しトーンを聞きます。</p> <p>Select に切り替えて選択します。ダウンロードした呼び出しトーンの隣に  が表示されます。Back を押して Phone Settings に戻ります。</p> <p>ダウンロードした呼び出しトーンが電話機の呼び出しトーンのリストに表示されます。</p>

電話機の画面設定の変更

電話画面および表示される情報を制御する設定を変更するには、**Menu > Phone Settings** を選択します。

項目	操作
電話画面に表示される言語の変更	<p>Language にスクロールして選択し、目的の言語にスクロールしてその言語を選択します。選択した言語の横に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。</p> <p> (注) <u>画面上は選択した言語にすぐに変更されます。</u></p>
電話画面の起動メッセージの変更	<p>Greeting Message にスクロールして選択し、Edit を押します。メッセージを 15 文字以内で入力します。P.37 の「テキストの入力と編集」を参照してください。OK を押して変更内容を保存し、Back を押して Phone Settings に戻ります。</p>

項目	操作
メインの電話画面メッセージの変更	Welcome Message にスクロールして選択し、 Edit を押します。メッセージを 10 文字以内で入力します。P.37 の「テキストの入力と編集」を参照してください。 OK を押して変更内容を保存し、 Back を押して Phone Settings に戻ります。
電話画面のバックライトの変更	Backlight にスクロールして選択します。 Off または On にスクロールして、 Select を押します。

電話ロックの設定の変更

電話ロック機能を制御する設定を変更するには、**Menu > Phone Settings** を選択します。

項目	操作
電話機の電源をオンにするとロック解除するパスワードの入力を要求する	Phone Lock にスクロールして選択し、On/Off にスクロールして選択します。Off にスクロールして電話ロックを無効にするか、On にスクロールして電話ロックのパスワードを要求するように設定して、Select を押します。
電話ロックのパスワードを変更する	Phone Lock にスクロールして選択し、Password にスクロールして選択します。Edit を押して電話ロックのパスワード(* や # を含む 10 文字まで)を入力します。OK を押して変更内容を確認し、Back を押して Phone Settings に戻ります。
	 (注) デフォルトのパスワードは、12345 に設定されています。

ヒント

- 電話ロック機能が有効でパスワードを変更していない場合、12345（デフォルトのパスワード）を入力し、電話ロックを解除します。
- 電話ロックのパスワードを変更して忘れた場合、システム管理者に連絡して電話ロックを解除しリセットしてもらいます。個人設定および電話帳エントリがすべて削除されます。

電話ステータスの表示

トラブルシューティングの目的で、次の表に示すように、電話機のソフトウェア、ファームウェア、およびハードウェアのリリースを確認しなければなりません。

項目	操作
電話ステータスのオプションの表示	Menu を押し、◀または▶を押し、Phone Settings メニューに切り替えます。Phone Settings を選択し、Phone Status を選択します。
現在の設定ファイル名の表示	Current Config File にスクロールして選択し、番号を表示します。
ネットワーク統計情報の表示	Network Statistics にスクロールして選択し、ネットワーク接続時間などの統計情報を表示します。
ファームウェアのバージョン番号の表示	Firmware Info までスクロールして選択します。Firmware Version にスクロールして選択します。

項目	操作
ボードサポートパッケージ (Bsp) ロード ID の表示	Firmware Info までスクロールして選択します。Bsp Load ID にスクロールして選択します。
起動ロード ID の表示	Firmware Info までスクロールして選択します。Boot Load ID にスクロールして選択します。
ハードウェア情報の表示	Hardware Info にスクロールして選択し、現在のハードウェアのリリースを表示します。

ネットワーク設定の表示

トラブルシューティングの目的で、次の表に示すように、電話機のネットワーク設定を確認しなければならない場合があります。

Network Config メニューにアクセスすると、システム管理者の電話機の設定方法によって、画面に「Not Available」と表示されることがあります。

項目	操作
現在のネットワーク設定の表示	<p>Menu > Network Config > Current Config を選択して次の設定を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCP enable • DHCP server • IP address for phone • Subnet mask • Hostname for phone • Primary gateway • Primary TFTP server • Cisco CallManager servers (1-5)
電話機の MAC アドレスの表示	Menu > Network Config > MAC Address を選択します。

項目	操作
電話機の無線ネットワーク設定の表示	<p data-bbox="363 190 837 320"> Menu > Network Config > 802.11b Configuration を選択して、次の設定を表示します。 </p> <ul data-bbox="379 360 860 776" style="list-style-type: none"> • Associated access point (AP) MAC address • Associated AP SSID • Network type • Current user profile • Current network profile • Key management used • Cipher used

ヒント

- システム管理者は、Cisco Wireless IP Phone 7920 の設定可能なメニューへのアクセスを無効にすることができます。
- システム管理者に問い合わせると、このメニューに表示されるネットワーク設定についての情報がわかります。
- Site Survey 機能は、アクセスポイント関連について確認するためのユーティリティです。



シスコ製品（ハードウェア） に関する 1 年間の限定保証 規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証書およびライセンス契約書を含む正式な保証書は、Cisco.com で入手できます。次の手順に従って、Cisco.com から *Cisco Information Packet*、保証書、およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順に従います。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF(Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注)

PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト (<http://www.adobe.com>) からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。
 - a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
 - c. **Go** をクリックします。
 - d. Cisco warranty ページが表示されます。
 - e. このページから文書をオンラインで見ること、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。
-

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力をいたします。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization(RMA)番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	